

8月17日(月)

選 択

聖書朗読 ガラテヤ人への手紙 6:7～10

あなたがたが仕えようと思うものを、どれでも、きょう選ぶがよい。私と私の家とは、主に仕える。」
ヨシュア 24:15

あなたの選択があなた自身を作り上げます。

そして、あなたの選択はあなたの運命に影響を与えます。

選択には結果が伴います。あなたはどんな選択でもすることができますが、その結果を選び取ることはできません。

あなたの人生の物語のページをめくるか、めくらないかを、一瞬ごとに選ばなくてはなりません。今日の選択は、あなたの過去ではなく、未来を形作ります。あなたは消しゴムで消すことのできない鉛筆で自分の人生の物語を綴っているのです。あなたは昨日の選択を取り消すことはできませんが、ページをめくって、新しい章、良い結末につながる章を始めることはできます。

あなたがかつてどんな人であったかではなく、あなたがどういう人になろうとしているかなのです。

『そういうわけですから、賢くない人のようにではなく、賢い人のように歩んでいるかどうか、よくよく注意し』ましょう。(エペソ 5:15)

雄々しくあって困難な選択をし、強くあって正しい選択をしましょう。

あなたの選択によって、将来のあなたが決まるのです。

讃美歌 284 主のとうときみことばは

祈 り 主よ、私の歩みを導き、目の前の選択のために知恵をお与えください。私の思いではなく、あなたのみこころを選び取り、あなたが私に望んでおられる未来へと歩んで行けますように助けてください。イエス様の御名により。アーメン。



テキサス州 ヒューストン / ジョー・バーネット

今日の力

2026年8月17日 ～ 8月23日

翻訳 鈴木 慈久
村越 克子
編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

8月18日(火)

ほんとうの自分

聖書朗読 エペソ人への手紙 1:12~18

聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの保証です。これは神の民の贖いのためであり、神の栄光がほめたたえられるためです。 エペソ 1:14

私は旅行中、ちょっと迷子になることがよくあります。時には丸っきりどこにいるか分からなくなります。どっちの方向に進めばいいのかわからなくなってしまうのです。時々、自分自身すらも見失うことがあります。私たちはアイデンティティ意識(自分らしさ)を失ってしまうことがあります。私たちは、移動や仕事や買い物や友人関係に時間を費やすことに忙し過ぎて、もっと深い本当の自分、自分は何者であるか、自分を造られたお方はどなたかということを忘れてしまいます。私たちは、人間であり、友人であり、従業員である前に、組織や仕事や集団に属する前に、神様に属しているのです。

私たちは迷子になるかもしれませんが、見捨てられている訳ではありません。神様は私たちに安心という賜物をくださっています。私たちの心に住んでくださっている聖霊です。聖霊は私たちを造り変え、私たちを整え、私たちが何者であるかを絶えず思い出させてくれます。パウロは、聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの保証であり誓約であると言っています。

私たちは一時的に道を見失うことがあるかもしれませんが、神様に贖われた者であるという地位を失うことはありません。私たちは神様のものです。神様は私たちを見失ったりなさいません。聖霊によって、神様は私たちが神様のものであることを、選ばれ、守られ、心から愛されていることを保証してください。私たちはさまようかもしれませんが、神様の家族の中の私たちの場所は揺らぎません。人生の旅路のどこにあっても、キリストにあるあなたのアイデンティティは揺らぐことなく、御国を受け継ぐことが保証されているということを知って平安を得ましょう。

讃美歌 354 かいぬしわが主よ

祈り 主よ、人生の中であなたのみわざを知ることによって、あなたをたたえることができますように。この忙しい世界の中であなたの大使となれますように。神様の愛の恵みのうちに。アーメン。

サウス・カロライナ州 コロンビア / マーク・ヤング

8月19日(水)

舌を制する

聖書朗読 エペソ人への手紙 4:29~32

ことばが私の舌にのぼる前に、なんと主よ、あなたはそれをことごとく知っておられます。 詩篇 139:4

欠点を隠そうとしても、話し出すとバレてしまうものです。最初ちょっと見た感じでは好印象だったのに、話し出した途端にメッキが剥がれてしまう人っていますよね。そういう人たちの口からは、醜い神様を汚すような言葉、下品な言葉、悪意に満ちた憎悪、愚かなたわごとが飛び出してきました。

おそらく、そういう訳で、リンカーン大統領が“黙っていて愚か者と思われる方が、話して疑いを晴らすよりましだ”という諺を引用したと思われるのでしょう。舌によって、私たちは嘘をつき、他人を批判し、苦しみや怒り、軽蔑を吐き出すことができます。あるいは、愛をもって真実を語り、神様を讃美し、優しさや励まし、思いやりを表わすこともできます。

間違った舌の使い方をすれば、人を^{おとし}貶め、聖霊を悲しませます。(エペソ 4:30) 正しい言葉遣いをすれば、人を励まし、神様にご栄光を帰すことになります。人からされた悪いことばかりに目を向けている限り、舌を制することはできません。でも、イエス様が私たちのためにしてくださったことや、どれだけ私たちを赦してくださったかに目を向ければ、聖霊の助けによって、実りあることに舌を用いることができます。今日、あなたはどちらの舌の使い方をしていますか。

讃美歌 180 はとのごと降る

祈り 尊い主よ。私たちの身体を、舌ともども、生きた供え物としてあなたにお捧げします。誤った世界に向けて真実を語り、悪いニュースばかりある中で福音を広め、暴力の只中であなたの愛と思いやりを示すために、私たちを用いてください。イエス様のお名前において。アーメン。

オレゴン州 グレシャム / リチャード・N・アディ

8月20日(木)

本当にありがとう

聖書朗読 ピリピ人への手紙 1:3~11

私は、あなたがたのことを思うごとに私の神に感謝し、

ピリピ 1:3

数年前に《また会いましょう》というテレビ番組がありました。毎回、二人の人が出演して、昔会って、どうしてももう一度会いたいと思う人を探すという番組でした。9.11同時多発テロ事件の生存者は、崩壊しつつある世界貿易センタービルから脱出するのを助けてくれた青年を探しました。ベトナム戦争で負傷した退役軍人は、半世紀前に脚の手術をしてくれた外科医を探しました。

ほとんど毎回、出演者がまた会いたいと思った動機は感謝でした。彼らの人生が、その人の親切によって、いかに定められ、励まされ、救われてきたかを伝えて、「ありがとう」と言いたかったのです。喜びの再会になったときには、探していた人も、見つけられた人も、ともに励まされ祝福されました。

キリストにあるあなたの人生を振り返ってみてください。神様は、誰を通してあなたを祝福してくださいましたか。ここぞというときに励ましの言葉をかけてくれた人ですか。今も大切にしている奉仕活動で一緒に働いた人ですか。今でもあなたの信仰に聖書クラスでの声が反響している大好きだった先生ですか。その人が今どこにいるか知っていますか。

『兄弟愛をもって心から互いに愛し合い、尊敬をもって互いに人を自分よりまさっていると思いなさい。』とパウロは記しています。(ローマ12:10) 今日、ちょっとだけ時間をとって、あなたが「本当にありがとう」と言いたい人に、メールを送ったり、手紙を書いたり、電話をかけたりしましょう。

讃美歌 403 かみによりて

祈り 親愛なる主よ。キリストにある兄弟姉妹というみめぐみに感謝します。今、あなたの御前に名前をあげる方に特別に感謝します。イエス様のお名前において。アーメン。

ケンタッキー州 コビントン / K フォーン・ナイト

8月21日(金)

試練と苦難

聖書朗読 ピリピ人への手紙 1:12~30

私が呼ぶとき、答えてください。私の義なる神。あなたは、私の苦しみのときにゆとりを与えてくださいました。

詩篇 4:1

試練や苦難は誰もが直面するもので、経験しないで人生を終える人はいません。試練と苦難は、ときには小さな波のうねりのように押し寄せ、またあるときは圧倒的な力で襲いかかってきます。

自分自身の苦難もつらいものですが、愛する人が苦しむ姿を見るのはそれ以上につらいものです。だからこそ神様は私たちに、家族や、神にある家族である兄弟姉妹や、神様ご自身のご臨在を与えてくださっているのです。私たちは決して一人で苦しむようなことはありません。

直面してみると、試練は地上のどんな山よりも大きく見えて、乗り越えるのは不可能に思えるかもしれません。そのように自分が弱っているときには、主に呼び求めたり、兄弟姉妹に助けを求めたりするのをためらってしまうかもしれません。

聖書には、苦難に遭ったけれども、その苦難が神様の目的達成のための、より大きな物語の中で役立った人々の例が数多く記されています。たとえば、ヨセフは裏切られ、奴隷にされ、投獄されましたが、神様はヨセフを用いて国々を救われました。ルツは悲しみの中で揺るぎない信仰を持ち続けて、キリストの血統の一員となりました。パウロは試練を福音を広めることに用いました。

試練にあったら思い出してください。神様はあなたとともにおられます。神様は私たちをお見捨てにはなりません。この戦いは主の戦いなのです。

讃美歌第二編24 世界を すべたもう主よ

祈り お父様。試練のとき、私たちはひとりではないと気付かせてください。私たちの信仰を強め、歩みを確かにし、あなたのいつくしみを信頼することができるよう助けてください。試練によってあなたに近づき、人生においてあなたのご栄光を現わすことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 クラレンドン / ジャッキー・ベル

8月22日(土)

仲直りは早く

聖書朗読 ピリピ人への手紙 2:12~18

怒っても、罪を犯してはなりません。日が暮れるまで憤ったままでいてはいけません。悪魔に機会を与えないようにしなさい。 エペソ 4:26~27

キッチンが静まり返り、食洗機のかすかな作動音が聞こえるだけでした。その日の夕方ちょっとした言い合いの余韻が漂っていました。大喧嘩をしたわけではありませんが、1日の疲れもあって、ついキツイ言葉が出てしまったのです。二人ともお互いを避けるように丁重に行動していましたが、そこにはいつもの温かさではなく、よそよそしさがありました。今晚はもう寝てしまって、明日何とかしようと、二人とも思いました。

エペソ 4:26~27は、このような瞬間を穏やかに阻止してくれます。愛し合う夫婦間であっても、怒りを感じることはあるものです。聖書が警告しているのは、怒りを感じることでなく、その怒りを心に居座らせ根付かせてしまうことです。

怒りを無視すれば、気づかないうちに心の壁が築かれます。でも謙虚な姿勢で向き合えば、それは自分を成長させる機会となります。夜遅くの話合い、心からの謝罪、あるいは二人で捧げるささやかな祈りが、怒りが憤りへと変わるのを食い止めることができます。

夜遅いとか、疲れているとか、とくに都合の悪いときに、和解を選択するのは、信仰と謙虚さのあらわれです。あなたの心を支配しているのは神様であるということを示しましょう。

讃美歌 285 主よ み手もて

祈り 主よ。怒りにまかせた言葉や恨みを赦してください。私たちの心を穏やかにして、忍耐と変わる事のない愛で満たしてください。あなたのみめぐみを通して周りの人たちを見ることができるよう。キリストを通して祈ります。アーメン。

フロリダ州 デスティン / サラ・クラーク

8月23日(日)

キリストを見なろう

聖書朗読 ピリピ人への手紙 4:4~9

私がキリストを見なっているように、あなたがたも私を見なってください。 I コリント 11:1

交差させて、ねじり、ぎゅっと引っ張る。輪を作り、その輪をかけて、通して、またぎゅっと引っ張る。これは靴紐の結び方の手順ですが、大半の人にとっては、お手のものの単純作業です。でも、4歳の子どもに、実際に靴紐を結ぶところを一切見せずに、この手順だけを言ったとしたら、どんな反応が返ってくるでしょうか。多分、何のことかわからなくてキョトンとして、やってみようとも思わないでしょう。基本的な課題で、それほど難しそうではないのに、どうしてでしょうか。何か大事なことが抜けているのでしょうか。

新しい技術や不慣れな作業というものは、明確な計画や説明がなければ、習得するどころか、限られた成功すら期待できません。そういうときは、写真、個人指導、あるいは実演が非常に役立ちます。(ネットショップで購入した家具を組み立てる場合、同封されている説明書が必要でしょう。)

パウロはコリントの教会に対して、自分がキリストを見なっているように、パウロを見なろうようにと指示しました。私たちは誰かに対してこのように言えるほど、自分の信仰の歩みに自信を持っているでしょうか。キリストを表わすような、はっきりと目に見える姿を他の人たちに示しているでしょうか。

多くの人が現代社会で見なろうべきお手本を探し求めています。今日、そして、いつでも、キリストを見なろう、お手本でいましょう。

讃美歌第二編 わかき われらは

祈り 主よ。あなたを見なりたいです。あなたのお手本にしっかり見ならえるように助けてください。主とともに歩むとき、映る影がひとつになるほど、あなたにぴったり寄り添うことができますように。イエス様のお名前において。アーメン。

アーカンソー州 サーシー / ジョー・デヴィッド・キース